

(様式3-2)

揭示文書

下記の研究を行います。

この研究では「後向き観察研究」を行います。通常の診療で得られたカルテ・画像・検査・病理所見等の記録を用いて評価します。このような研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規程により研究内容の情報を公開することが必要とされています。また、当院の倫理審査委員会において承認されています。

研究課題名	COVID-19 陽性妊婦から出生した新生児に関する後方視的検討
研究の主催機関	国立病院機構仙台医療センター
研究責任者	千葉 洋夫
研究目的	2021 年から当院にて COVID-19 陽性妊婦から出生した新生児の入院管理を行っている。出生後の新生児の経過や予後について検討する。
研究期間	2021 年 1 月 1 日以降
研究方法概略	診療録を用い COVID19 陽性妊婦から出生した新生児の臨床経過について後方視的検討を行う。
個人情報	利用する情報から名前、住所など患者さんを特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、個人を特定できる情報は利用しません。
本研究の資金源	■なし、□あり()
利益相反	■なし、□あり
問い合わせ先	国立病院機構仙台医療センター (小児)科 職名(医長) 研究責任者氏名(千葉 洋夫) 連絡先 tel. 022-293-1111